

匂	な		的	港	こ	る	東	2	港	周	れ		い	寝	れ	し		た	
い	い	高	で	を	の	連	京	つ	に	辺	、		。	を	た	た	軽	。	
を	の	々	あ	離	空	絡	駅	の	つ	の	ま	思		し	。	私	い	「	当
感	に	東	る	発	港	バ	ま	こ	い	情	た	え		て	ど	は	振	機	は
じ	、	京	こ	着	を	ス	で	と	て	報	準	ば		い	う	、	動		茨
な	空	か	と	す	離	が	は	だ	覚	は	備	こ		る	や	窓	と		城
い	港	ら		る	発	走	1	け	え	ほ	に	の		内	ら	越	機		東
。	と	百		便	着	っ	時	。	て	と	忙	東		に	東	し	内		京
も	こ	マ		と	す	て	間	一	い	ん	殺	京		穀	京	に	の		空
し	の	イ		比	る	い	に	つ	る	ど	さ	へ		倉	は	見	ア		港
や	航	ル		べ	便	こ	1		こ	得	れ	の		地	、	え	ナ		に
新	空	程		て	は	と	本	茨	と	て	て	出		帯	私	る	ウ		着
手	機	度		空	東	。	、	城	は	い	い	張		に	が	景	ン		陸
の	以	し		い	京	も	4	東	必	な	た	は		な	上	色	ス		致
詐	外	か		て	の	う	ド	京	要	か	た	突		っ	空	に	で		し
欺	、	離		い	他	一	ル	空	最	っ	め	然		て	で	目	目		ま
か	文	れ		て	の	つ	で	港	低	た	、	設		し	う	を	を		し
。	明	て		経	2	は	乗	か	限	。	空	定		ら	た	奪	冷		
	の	い		済	空	、	れ	ら	の	空	港	さ		し	た	わ	ま		

[illegible]

O

O

に	ク	ら	ほ	社	質	の	的	ら	我	じ	と	研	分	で	半	負	用	会	
来	ラ	感	ど	所	で	上	に	寄	々	ら	い	究	野	き	民	う	サ	社	今
た	イ	じ	の	在	元	が	は	せ	の	れ	う	成	融	た	の	中	ー	向	回
。現	ア	る	念	地	部	ら	、	集	調	、	こ	果	合	会	研	堅	バ	け	の
れた	ン		の	は	下	な	業	め	べ	国	と	の	と	社	究	イ	ー	に	ク
たの	ト		入	武	に	い	績	た	に	の	で	社	産	ら	機	ン	の	無	ラ
は	の		れ	蔵	自	リ	の	即	よ	肝	現	会	官	し	関	フ	導	人	イ
1	社		様	村	殺	ス	乏	席	れ	い	地	実	学	い	と	ラ	入	施	アン
人、	員		は、	市	者	ト	し	部	ば、	り	メ	装	連	。社	大	屋	か	工	ト
既	が		日	と	が	ラ	い	隊	社	で	デ	へ	携	員	手	だ	ら	ロ	は、
に	東		本	い	出	予	ポ	あ	員	設	ィ	向	を	数	国		保	ボ	行政
メ	京		的	う	た	備	ス	る	は	立	ア	け	謳	は	内	十	守	ッ	機
ー	駅		ジ	西	管	軍	ド	よ	様	さ	で	た	っ	百	企	数	管	ト	関
ル	ま		ョ	の	理	、	ク	う	々	れ	は	モ	て	名	業	年	理	や、	機
で	で		ー	方	職	パ	、	だ	な	た	大	デ	設	ほ	が	前	全	そ	関
や	出		ク	に	な	ワ	営	。具	部	だ	々	ル	立	ど	出	に、	般	の	や
	迎		す	あ	ど	ハ	業	体	局	が、	報	ケ	さ	。異	資	半	を	管	建
	え			る	本	ラ	成		か			ス	れた、		て	官	請	理	設

ん	あ		く		た	て		立	の	せ	所	の	情	作	い	乗	ム	本	り	
か	の	「無	理	村	か	驚	「茨	っ	空	ん	作	男	が	っ	る	せ	カ	語	と	
ら	プ	人	解	松	と	き	城	た	港	沈	か	が	見	て	と	て	ー	訛	り	
。	ロ	に	し	は	思	ま	東	。	の	黙	ら	何	え	み	き	車	ド	り	を	
で	ヴ	は	て	二	い	し	京		一	ば	は	を	な	せ	に	を	の	の	し	
す	ィ	違	答	度	ま	た	空		件	か	育	考	く	る	は	出	交	強	て	
が	ン	い	え	ほ	し	な	港		に	り	ち	え	な	が	顔	し	換	い	い	
、	ス	あ	た	ど	た	あ	で		つ	が	の	て	る	、	に	た	を	英	た	
荒	に	り	。	聞	よ	。	は		い	続	良	い	。	会	張	。	終	語	村	
野	は	ま		き	」	無	周		て	い	さ	る	言	話	り	え	る	で	松	
で	人	せ		返		人	囲		投	し	を	か	語	が	付	と	、	自	と	
は	が	ん		し		の	に		げ	ま	感	読	の	終	い	の	私	己	い	
あ	居	。		た		荒	人		て	う	じ	み	壁	わ	た	男	を	紹	う	
り	住	空		あ		野	工		み	の	ら	取	も	る	よ	は	助	介	そ	
ま	し	港		と		に	物		よ	で	れ	り	あ	や	う	、	手	を	の	
せ	て	を		、		降	が		う	、	る	に	っ	ス	な	会	席	し	男	
ん	い	除		よ		ろ	な		と	先	。	く	て	ッ	笑	話	を	、	は	
。	ま	き		う		さ	く		思	程	如	い	、	と	顔	を	ネ	日	、	
我	せ	、		や		れ			い		何	が	こ	表	を	て	に	ー	日	

が	国	の	イ	ン	フ	ラ	ス	ト	ラ	ク	チャ	ー	が	あ	り	ま	す	
か	ら	。	」															
は	あ	っ	た	が	、	他	に	ダ	ム	や	堤	防	が	あ	る	の		
か	？	」																
	「	そ	れ	ら	も	そ	う	で	す	が	、	穀	倉	地	帯	で	す。	
食	料	生	産	基	地	は	イ	ン	フ	ラ	で	す	か	ら	。	我	々	も
時	々	、	行	政	か	ら	委	託	事	業	と	し	て	仕	事	を	受	け
ま	す	。	我	が	国	で	は	、	道	路	や	ダ	ム	の	維	持	管	理
と	同	様	、	穀	物	の	栽	培	管	理	や	収	穫	、	流	通	は	細
分	化	さ	れ	て	一	般	競	争	入	札	に	出	さ	れ	ま	す	。	そ
れ	を	我	々	の	よ	う	な	民	間	企	業	が	受	注	す	る	の	で
す	。	」																
	先	程	ま	で	の	辿	々	し	い	英	語	が	、	い	き	な	り	流
暢	に	回	り	だ	し	た	の	で	意	表	を	突	か	れ	た	。	ど	う
も	こ	の	フ	レ	ー	ズ	は	頻	繁	に	話	す	定	型	句	の	よ	う
だ	。	他	国	の	農	業	事	情	に	は	大	し	た	興	味	は	な	い
が	、	ど	う	も	私	の	国	の	農	業	の	事	情	と	は	大	分	事
情	を	異	に	す	る	ら	し	い	こ	と	は	わ	か	っ	た	。		

バ	業	ミ	ン	サ	ビ	イ	て	イ		開	な	を	バ	こ	の	の	身	の	
ー	と	ー	フ	ー	ス	ン	ISI	ノ	「	い	い	目	ー	と	会	い	で	男	車
サ	い	ニ	ラ	ビ	の	フ	へ	ベ	よ	た	。	の	シ	は	社	い	メ	が	を
イ	っ	ン	ス	ス	受	ラ		ー	う			当	テ	に	は	50	ガ	現	降
ド	た	グ	ト	事	託	ス	私	シ	こ			た	ィ	明	は	歳	ネ	れ	り
や	イ	に	ラ	業	研	ト	が	ョ	そ、			り	の	し	30	過	の	た	る
バ	ン	な	ク	を	究	ラ	所	ン	イ			に	欠	て	代	ぎ	30	。	と、
ッ	フ	っ	チャ	行	と、	ク	長	・	ン			す	片	い	か	の	代	先	車
ク	ラ	て	ャ	っ	、	チャ	の	シ	フ			と	も	る	ら	男	く	程	寄
エ	と	お	ー	て	そ	ャ	小	ス	ラ			内	ない	も	50	が	ら	の	せ
ン	い	り	と	い	の	・	野	テ	ス			心	フ	の	代	一	い	村	ま
ド	う	ま	い	ま	社	ア	寺	ム	ト			苦	ォ	、	の	人	の	松	で
と	意	し	う	す	会	ズ	で	・	ラ			笑	ー	実	男	が	と	似	3
い	味	て	の	こ	実	・	す	研	ク			せ	メ	際	性	事	似	た	人
う	と、	、	は	こ	装	ア	こ	究	チャ			ざ	ー	に	し	前	た	よ	の
意	、	土	ダ	こ	と	・	こ	所	ャ			る	シ	ダ	か	調	う	ス	の
味	サ	木	ブ	に、	し	サ	で	、	ー			を	ヨ	イ	い	査	人、	な	ス
の	ー	や	ル	イ	の	ー	は	略	・			得	ン		こ	こ	恰	ー	ツ
イ		農					、	し									幅	細	

とな	た村	うだ	パワ		近い	の件	で研	が、		なる	うご	ゼン	す。	ムの	私		で	こ	ン	
った	松は	。確	ハラ	この	い。	の担	究員	こ	「え	ること	ござ	ンテ	こ	のマ	は	「お	教授	こ	フ	
たま	は車	かに	ラ、	小野	。今	当を	をし	ちら	え、	とを	います	ーシ	の度	ネー	Johnson	目	職も	で所	ラの	
まで	を置	、先	研究	寺と	後と	をし	てい	の若	よろ	楽し	す。	ョン	は弊	ジャー	&Taylor	にか	兼任	長を	の両	
、	いて	程ま	員3	いう	も仲	てい	ます	いは	しく	みに	本日	を行	社の	ーを	secure	かれて	して	やっ	方を	
鈴木	駆け	で少	人衆	所長	良く	ます	。あ	鈴木	。と	にし	は有	機会	サー	努め	のマ	て光	いま	てお	意味	
と田	つけ	し打	は元	は、	やっ	。年	と、	と木	こ	てお	意義	を頂	ビス	てい	ーケ	栄で	ります	ます	し	
山に	るや	ち解	ポス	どう	てく	頃も	村	と田	ろで	ります	な情	きあ	につ	ます	ティ	すよ	すが	が	。が	
至っ	終始	け	ドク	や	ださ	も貴	松は	山で	遅れ	す。	報交	り	いて		ング	」	、国	は	は	
ては	無言	てき	のよ	例の	い。	方と	今回	、う	まし	」	換と	がと	プレ	James	チー	小	立大	私	。私	
					」			ち	た					で	ー	野	学	は		

他の2名は、という、ばらばらと窓側の席	ラップトップを開いてカタカタやり始めた。	くで小野寺が参ります、とだけ言う、	あ、って、村松が入ってきた。もうしばらく	料の配布が終わって、たぷり、分くらい	会議室でプレゼンテーションの試写と資			じて口をつぐんだ。	が、どことなくピリピリとした雰囲気を感じ	案内する。どんな研究を？と聞こうとした	あ、って、鈴木と田山が無言で私を会議室に	レベルターへ消えていった。しばらく間が	小野寺は、そう言う、村松を連れてエ	が行くまで始めないでください。」	い。私は村松と話をしてから行くので、私	鈴木、田山、Msさん、を会議室へ案内しな	「では、早速だが会議室で話をしよう。	小野寺が続ける。	る。	ずっと一点を凝視したまま笑みを作ってい
---------------------	----------------------	-------------------	----------------------	--------------------	--------------------	--	--	-----------	----------------------	---------------------	----------------------	---------------------	-------------------	------------------	---------------------	----------------------	--------------------	----------	----	---------------------

く		小	し	政	さ	当	と、	い	写	座			し	忙		取		黙	に	
れ。	「細	野寺	た。	団	れ	社	サ	る	し	り、	私	そ	よ	し	「す	り	更	っ	腰	
と	かい	は	サ	体、	て	の	ポ	法	な	、	は、	う	う。	い	すみ	で	に	て	掛	
こ	話	話	ー	教	お	サ	ー	人	が	前	、	言	。	の	ませ	小	ら	宙	け、	
ろ	は	を	ビ	育	り、	ー	ト	向	ら	方	人	う		に	せん	野	分	を	机	
で、	あ	遮	ス	研	ク	ス	サ	の	説	の	と	や、		困	な	寺	を	見	に	
御	と	った。	の	究	ライ	は	ー	セ	明	プロ	長	中		っ	あ。	が	過	て	資	
社	で		詳	機	アン	世	ビス	キュ	を行	ジェ	机	央		た	急	入	ぎ	い	料	
に	村		細	関	ト	界	につ	リ	った。	ク	を	の		もの	な	っ	た	る。	と	
聞	松		に移	で	の	コ	いて	テ	当	ター	挟	席		です。	電	きた	頃、		ペ	
き	と		る	あ	多	国	の	ィ	社	で	んで	に			話		ゆ		ン	
た	打		段	こ	く	に	概	ソ	が	ス	対	腰		さ	が		っ		だ	
い	ち		にな	と	は	お	要	フト	提	ライ	面	掛		あ、	入		く		け	
こ	合		って、	等	地	い	だ。	ウ	供	イド	に	け			り		り		を	
と	わ			を	方	て		エ	し	を	一	る。		始	まし		と		置	
が	せ			説	行	採		ア	て		人			め	して		した		いて	
あ	て			明	行	用					で			ま			足			

。

テ		な	わ		テ	言	社		い	ら	要	サ			い		と	る	
ス	「そ	ら	ざ	し	ス	っ	が	私	て	さ	請	ー	「そ	小	場		答	で	苛
ト	う	な	わ	か	ト	て	雇	は	い	ず	し	バ	う	野	合	え	韓	立	
に	し	か	ざ	し、	の	い	っ	内	る。	に	た	ー	で	寺	が	る	非	ち	
つ	た、	っ	こ	、	話	る	た	心	」	証	と	に	は	は	あ	他	子	を	
き	、	た	の	同	に	ん	会	困		拠	き	不	再	遮	り	に	で	覚	
ま	い	が	国	時	し	だ	社	惑		を	に、	正	び	ます。	可	は	え	る	
し	わ	今	に	に、	て	？	に	し		隠	、	ア	る。	す。	能	な	の	を	
て	ゆ	解	日	な	は	た	ク	た。		滅	そ	ク		。	あ	い	か。	を	
は、	る	っ	帰	ぜ	仰	だ	ラ	。		す	れ	セ			る	か。	ぐ	っ	
別	ペ	た。	り	こ	々	の	ッ	自		る	を	ス			場	だ	と	こ	
途	ネ		出	の	し	ペ	ク	社		こ	実	を			合	が	こ	ら	
お	ト		張	ご	い	ネ	さ	の		と	行	行			と、	こ	れ	え	
見	レ		を	時	言	ト	せ	サ		が	し、	う				れ	に	る。	
積	ー		し	世	い	レ	る	ー		可	委	サ			そ	も	淡	ま	
り	シ		な	に	方	ー	？	バ		能	細	ポ			う	も	々		
が	ヨ		く	私	だ。	シ	何	ー		か	を	ー			で				
必	ン		て	が		ョ	を	を		と	漏	ト			な				
			は			ン		自		聞		を							

[illegible]

—

[illegible]